

## 山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

この度大村智先生の奨学金を利用し、アメリカに交換留学に行ってきました、都留文科大学文学部英文学科4年の伊藤華那です。奨学金のおかげで資金の心配をすることなくのびのびと経験や勉強に集中できました。本当に感謝しております。

私は、アメリカのウィスコンシン州にあるセントノーバート大学に留学しました。セントノーバート大学はアメリカで人気のフットボールチーム「グリーンベイパッカーズ」の拠点の都市、グリーンベイからすぐの静かな街にあります。小さい大学ですが、大学のキャンパスは緑であふれていて、大学沿いには大きな川が流れているとても素敵な大学でした。私の留學生活について、生活面や勉強面を中心的に振り返ってみたいと思います。



(大学の門の前で)



(日々の生活の癒しのリス)

### 1、生活

私は、大学のキャンパス内にあるタウンハウスにアメリカ人の女の子5人と共同生活をしました。リビングルームが2つにそれぞれ2人ずつに分かれて部屋をシェアしました。食生活に関しては、大学のカフェテリ

## 山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

アで毎食食べることも選択できましたが、私は自炊をしていました。日本では実家に住んで大学に通っていたので、一緒に住んでいたハウスメイトはいたものの、炊事や洗濯を全て自分で行うのは初めての経験でした。お互いに気持ちよく生活するために基本的なルールを設定したりしました。例えば、週一で担当箇所を掃除することやキッチンを使ったらその日のうちには片付けるなどです。また、生活用品が足りなくなったら、みんなで分担して買ったりしました。5人のハウスメイトたちはいつも留学生の私を気にかけてくれ、とても頼もしい存在でした。休日には一緒にショッピングに行ったり、友人が来た際は一緒に食事をしたり、イベントがあるときは声をかけてくれたりと私の留学生生活を彩ってくれてとても感謝しています。

休日の過ごし方ですが、基本的には、長期休暇でない限りは大学の周辺で過ごしました。ローカルバスはあったものの、車がないとなかなか不便な場所でしたので週末は課題と予習、そして食品の買い出しをするというようにとても地味な過ごし方をすることが多かったです。時間があったら、友人と近くのカフェに行ったり、留学生の集まりに参加することもありました。サンクスギビングには友人が家に招待してくれ、日本にはないイベントを本場で経験するという貴重な機会を持ってました。冬休みには、日本の友人がアメリカまで来てくれ、一緒にサンフランシスコに旅行に行きました。



(友人宅でクッキー作り)



(ロンバートストリートにて)

## 山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

## 2、勉強

嬉しいことに、授業ではオール A の成績を取ることができ成績優秀者の 1 人としてディーンズリストに載ることができました。印象的だった授業について振り返りたいと思います。

授業についていけるよう、文章の添削をしてもらえるライティングセンターにたくさん通いました。また、夜遅くまで図書館で課題をすることもしばしばありました。

## 「ピースアンドジャスティス」

この授業では、学生が一人一人自分が焦点を当てて考える世界の問題 (conflict situation) を決めます。クラスで教授に教わる世界の問題、例えば、ロヒンギャ問題についてや紛争問題について学びました。それぞれが選んだ問題と授業で習った問題を関連づけさせ、より理解を深めました。私は、ジェンダーと絡めたかったので、ナイジャールの児童婚に焦点を当てました。

毎回、次の授業の予習として、長い論文を読んだり、時には動画も見ました。毎度の授業で話し合いの時間が設けられており、自分の英語力の無さから嫌になってしまうこともしばしばありましたが、教授や周りの学生の支えのおかげで乗り越えることができました。学期末には、10 ページもの論文を書き自分の選んだ問題についてのプレゼンテーションをしました。日本語でも 10 ページを超える論文を書いた経験は無かったので、私にとってはとても大きな挑戦でした。この授業は、これまで目を背けていた世界の問題をたくさん知り考察できたとても良い機会でした。視野を広げるととても良いきっかけになりました。

## 「論文の書き方の授業」

留学をするまで、英語で論文を書いたことがなかったので一年生が論文の正しい書き方を学ぶクラスをとりました。最初は右も左もわからないままのスタートでしたが、この授業ではとにかくたくさんの作文をしたので授業が終わる頃には論文を書くことに抵抗がなくなっていました。授業では、論文を書く上で大変重要な、フォームや文献の引用の仕方だけでなく、私たち日本人が TOEIC や TOEFL の文法セクションで行うような文法問題を解いたこともあり、ネイティブの学生でも文法があやふやなことがあるものなのだと思ったことがとても印象的でした。

学期末の最終課題では、自分の好きなテーマについてのリサーチペーパーを批判的に書きました。私は日本の美的感覚について批判的に論じま

## 山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

したが、教授に面白いと褒めていただき自信がつけました。

### 「コーラス」

これまで合唱に力を入れて取り組んだ経験はなかったのですが、英語で合唱に参加するチャンスはなかなかないと思い、合唱のクラスに参加しました。ドレスも揃え、発表の機会も何度もあり思っていた以上に本格的でした。友達もできて楽しかったです。

### 「英文学概論」

この授業のおかげで、私の英文読解力はかなり伸びたと思います。毎度、だいたい3チャプターずつ進んだので、100ページほど物語を読んでから授業に挑みました。英文学の授業なので、ただ物語を読み内容を知るだけでなく、深読みすることが重要になってきます。登場人物同士の関係性や行動などをよく理解するためには何度も往復して読まなければなりませんでした。自分で問題提起をし、考えながら読むということも学びました。

### 「リーダーシップスタディー」

都留文科大学では取れない授業だと思い受講しました。名前からわかる通り、リーダーシップについて学びます。実践しながら学ぶためか、学期中ずっと変わらない、一緒に課題を行うグループに分けられました。4人から5人のメンバーで教授が決めたのももちろん初対面でした。自分がグループに貢献できないのが申し訳ないと思ってしまい、グループワークが大の苦手でしたが、こうなったら少しでも役に立てるよう努力しようと思い、前向きに頑張りました。当時の自分ができる精一杯のことをやれたので後悔はないです。

### 「中国語」

中国語は以前にも勉強したことがありましたが、英語で第二外国語を学ぶということに興味があり挑戦してみたかったので履修しました。漢字のわかる日本人が大学で学ぶレベルよりも易しいレベルを学ぶかと思っていきましたが、驚いたことになかなか難しい内容でした。テストの際に聞いた中国語の意味を書く際も、私にとっては母語ではない英語で書くので頭がこんがらがることもありましたが、英語で学んだことによって以前より自分の英語力に自信が持てました。

## 山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

### 3、 授業以外での活動

#### 「ティーチングアシスタント」

週に三回、ティーチングアシスタントとして日本語のクラスを手伝いました。テストの採点をしたり、日本語を教えたりしました。このクラスでは、日本に興味がある学生が日本の何に興味があるのかを知れてとても興味深かったです。また、日本についてのプレゼンテーションを控えた地元の中学生のサポートをしたこともありました。

#### 「日本についてのプレゼンテーション」

また、日本についてプレゼンする機会も何度かいただきました。日本食についてや、日本のトイレについてプレゼンしました。

#### 「留学を通して学んだこと」

日々の生活を通して一番自分を変えたことは、人々の優しさです。初めて行く土地、初めて会う人、と初めてばかりで戸惑うことばかりでしたが、そんな私に親身になって、見返りを求めずに助けてくれる優しい人たちに何度も励まされました。これからはアメリカで私を支えてくれた人たちのように積極的に人助けをし、私が受けた恩を返していこうと思いました。

それから、話は聞いてはいたものの、やはり、アメリカの学生たちは授業に対する態度が日本の学生とは違いました。どの学生も自分の意見をしっかりと述べられるところを実際に見て、私もただなんとなく物事に向き合うのではなく、それに対して何を思うか、自分とどのように関係するのかを考えながら、何事に対しても意見の言える人間になろうと思いました。